



発行所  
 太平山頂上鎮座  
 太平山三吉神社総本宮  
 宮司 田村 泰教  
 秋田市広面字赤沼3の2  
 電話 (018) 834-3443  
 F A X (018) 834-3444  
<http://www.miyoshi.or.jp>



一昨年の豪雨被害により開山できない太平山頂上

宮司 田村 泰教

【豊葦原とよあしはらの瑞穂みずほの国くに】と称される我が国において【斎庭稻穂ゆにわの神勅しんちやく】によってもたされたお米は、歴史的・文化的にも、単なる主食以上の重い意味を持っている。▽米価の高騰が連日ニュースで取り上げられ、世はまさに令和の米騒動。備蓄米の放出で、価格は多少落ち着く兆しはあるものの、これほどお米の価格が話題に上ることは記憶にない。▽いち消費者として、大幅な値上がりは当然困りものだが、米農家の存在が身近な秋田在住者としては、今までが余りにも安すぎたのでは？という思いもよぎる。▽天候不順や温暖化、経費の増大や後継者不足など、農家を取り巻く環境は厳しさを増している。値段が上がった途端に大騒ぎ、ではなく、もう少し普段から、我々の命の源となる食を担う農業について、関心を払っていくべきだろう。▽今後、永続的に私たちのお腹を満たし、安心と幸福感をもたらしてくれる存在であり続けられるように。今回の一連の騒ぎを、この国におけるお米の重要性を再認識し、様々な問題を解く処方箋を作る機会としたい。安易に輸入に依存するなどは、もつての外だ。

言挙げ 89

# 豪雨災害を振り返る

榎 本 庄 泰 孝



令和五年七月豪雨災害により、太平山も各所で土砂崩

れや崩落など通行に支障をきたしております。その中でも特に旭又登山道と仁別林道の被害は凄まじく、現在でも使用できる状況にありません。令和五年から山頂の参籠所も開設できず、非常に残念な思いです。今年も通常であれば山の季節がはじまる時期となりました。今回は発災直後の令和五年開山祭のことを振り返りたいと思います。

令和五年七月十六日午前、協力会員と共に翌日の開山祭で通る登山口までの車道を確認しに出かけました。この前日に秋田を襲った豪雨災害の為、川は道路際まで増水し道中あちこちで岩が崩れていたりと車道が川のようになっていたりで目を疑う光景でした。

仁別の林道入口では土砂崩れにより、旭又登山口へは車で通行できません。前岳の登山口までは車でたどり着けたので、翌日は前岳、中岳を通り縦走ルートで御分霊をお遷しすることになりましたが、このルートは距離が長く道も険しいため安全策をとり、人数を絞って入山することになりました。

当日、私と神人、神社協力会員計十二名で入山、中岳以降の道は普段からの人通りの少なさから草が生い茂り、藪を掻き分け細い道を確認しながら進むこととなり、奥宮には日没間際、八時間を費やして到着しました。奥宮で開山祭を奉仕した後、皆で下山の計画をし、多少時間がかかって旭又登山口を目指して下山、その先の車道も歩いて帰ったほうが安全ではないかとの結論に到りました。この時はまだ旭又登山道や仁別林道の惨状を知りません。

翌十八日、私は奥宮勤務の為参籠所に残り、神人と協力会員にて朝七時に下山を開始しましたが、途中の無線連絡で登山道の凄惨な状況が伝えられました。「橋が流されていて川を渡るしかない」「旭又駐車場が見る影もない」「車道が崩落している」などの情報に耳を疑いながら、神人や協力会員の無事下山を祈りました。その日一行が里宮に着したのは午後七時、途中食事もせずに十二時間かけての下山となりました。

通常通りに奥宮を開けていられる状況にないことから宮司より指示があり、私は奥宮と参籠所のある程度片付けて、雨が止むのを待ち二十日に中岳ルートを通り下山しました。

その後、神社協力会員に助勢をいただき臨時閉山祭、奥宮参籠所の閉鎖作業を行い、中岳ルートを通って無事に御分霊を里宮までお遷しいたしました。

明くる令和六年は助成者の力をお借りして草刈を行い野田登山道より入山し、無事に臨時閉山祭・閉山祭を行うことができました。すべての行事・作業において神人の皆様、協力会員、協力者の皆様のお力添え無くしては成し遂

げられず、改めて深く感謝を申し上げます。

太平山山頂では奥宮や参籠所の建物にも豪雨による被害はありませんでしたが、登山道が復旧するまでは初心者の方が気軽に登ることのできない山となってしまいました。

現在はあるがたいことに行政当局のご尽力により仁別林道の復旧工事が続いています。全面復旧への道のりは長いですが、一日も早く以前の山頂がみられることを願うばかりです。



被害視察 林道崩落箇所



開山祭下山 道なき道を行く

## 地元シリーズ

## ジュンサイについて

## 新堀 孝志

(神社協力会副会長)

山が好きで時間を作ってはよく登ってました。特に家からの距離、登るのにかかる時間から太平山の奥岳に至る旭又コースは最高でした。ただ残念ながら令和五年度の大雨で車道、駐車場、橋等が壊れ今だに復旧できてない状況です。

何回も登るものですから、そのうち山の作業を手伝ってほしいということが切っ掛けとなつてだんだん神社の様々な行事、作業のお手伝いをすることになりました。その中で奥岳に参拝者、登山者等のために必要な物資をヘリコプターで揚げる「荷揚げ作業」というのがあります。無事終了すると次に直会があります。その際、私の家でジュンサイを生産しているものからです。持っているみんなが食べるのが習慣みたいになっ

ています。そのジュンサイについてあれこれ記してみたいと思います。

ジュンサイはヒツジグサ科の多年生水草です。北海道から九州に至る全国各地の池や沼に生えています。また、その分布は朝鮮、中国、インド、オーストラリア、アフリカ西部、北アメリカなど広範囲にわたっています。

ジュンサイは、古くから食用として知られ古名「ぬなは」として古事記(応神天皇)、万葉集(巻七―一三五二)等に歌われています。

秋田県三種町の山本地区(旧山本町)に周囲四〜五キロ、水面積約五〇ハの角助沼があります。かつては水面一帯がジュンサイの葉で覆われ、高品質で、生産量も多かったが、せいぜい自家用および知人、親戚への手土産程度しか

採取されていませんでした。これを知った兵庫県明石市の金陵食品加工会社が現地調査し工場建設に踏みきったことから山本地区が特産品としてジュンサイが県内外に知られるようになりました。そして最盛期には摘み人が一日三〇〜四〇もいました。ところが、一九七九年の水害で壊滅状態となり、現在角助沼にはジュンサイは生えていません。

ジュンサイは小舟に乗って手で摘み取りますが、同じ姿勢で長時間の作業となるため腰や肩に負担がかかります。また、採取時期が五〜八月に限られることもあって、若い人の摘み人はなかなかあらわれません。そのため生産を止める人が最近増えており、捨てられた沼が目につくようになりませんでした。全くなくなることはないと思いますが、機械化が進む世の中で、手作業に頼るジュンサイ生産を続けるのは大変なことと思われます。沼の生態系などにもふれたかったのですが、紙幅が尽きました。



写真の沼は現在の「角助沼」です

今年も開山かなわらず

# 太平山現状報告

一昨年七月の記録的な豪雨により、登山口までの林道と各登山道に大きな被害を受けた太平山の現状報告をいたします。

## 復旧工事の進捗状況と今後の見通しについて

秋田森林管理署様のご尽力によりまして、仁別国民の森までの林道工事が完了いたしました。しかし、そこから先の被害はより甚大で、旭又口までの林道開通は令和九年になるとのことです。

更に、登山道の橋が三ヶ所崩落しておりますので、完全復旧までの道筋が未だ見えてこない状況でございます。

## 今夏の奥宮・参籠所について

右記の通り、主要登山道である旭又口が使用できないため、残念ながら、今夏も山頂施設は開所いたしません。祈禱等につきましては里宮で承ります。

## 各登山道について

### 【旭又登山口】

仁別国民の森までの工事は完了いたしました。工事車両等の出入りが続きますので、一般車両は通行止めになっております。

### 【野田口】

古くからの表登山道である野田口も豪雨被害がございました。鳥居右側からの迂回路がありますので、沢を四度ほど渡ることになりますが、山頂まで登山することは可能です。(増水時は危険です。上級者向け)

は危険です。上級者向け)

### 【前岳口】

太平山スキー場オーパス(もしくはザブーン)から入る前岳からの縦走コースは登山可能です。但し、山ヒルの被害が多く報告されておりますので、十分ご注意ください。(上級者向け)

### 【丸舞口】

橋が壊れております。本年より補修工事が開始される予定です。

完全復旧まで、まだ相当の年数を要する厳しい状況でございますが、霊峰太平山の永く続く歴史や伝統・信仰が途絶えることのないように、関係各機関様のお力を頂きながら、今後も最大限の努力を続けて参ります。何卒、引き続きお力添えとご崇敬の程、切にお願い申し上げます。

(宮司 田村泰教)



6月15日視察作業



## 奉納者ご芳名

一、高額ご芳志

北上石灰株式会社

代表取締役

多田 祥茂 殿

# みよしスケッチ



春季例大祭  
(五月七日・八日)



協力会作業  
(四月十六日)



協力会総会  
(四月十六日)



札幌三吉神社例大祭  
(五月十五日)



秋田食と芸能大祭典  
(五月十五日)



永職会正式参拝  
(六月十三日)



協力会境内整備作業  
(五月三十日)

## 令和7年 下半期主な神事予定

10月1日(水)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事 (人形は9月20日よりお預かりします)
10月16日(木)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	神様の御加護と自然の恵みに感謝する例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(金)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
11月23日(日)	午前9時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月初旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札・お守りをお祓いする神事
12月13日(土)	午前10時	煤払い式	新年を清々しく迎えるために、境内建物のすずを払う恒例行事
12月31日(水)	午後2時	師走の大祓式	1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための神事

※毎月8日・17日は月次祭（午前10時）がございます。  
 ※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓式

# 第40回 太平山写生会

令和7年7月5日(土)午前8時30分神社集合(雨天開催)。

**主催** 太平山写生会実行委員会  
**後援** 太平山三吉神社総本宮  
**参加申込** 当日若しくは事前応募 (6/22~7/4)  
**参加対象** 幼児、小・中学生、保護者  
**写生対象** 太平山及び神社建物、境内からの風景など  
**様式** 水彩、クレヨン、パステルなど自由  
**審査** 市内小・中学校の先生  
**表彰式** 8月16日(土)午前9時  
 於：太平山三吉神社齋館  
 入賞者に賞状と副賞を授与

皆様のご参加をお待ちしております！

**協賛予定** 秋田魁新報社・秋田中央郵便局・  
 東日本電信電話(株)秋田支店・秋田銀行広面支店・  
 北都銀行秋田東支店・秋田信用金庫広面支店・  
 秋田県信用組合東支店・株式会社マルシン・  
 一ノ関時計店・花のヤマト・株式会社べんてる・  
 (術)木曾塗装・汎山書道教室 (順不同)

**展示予定** 秋田中央郵便局・秋田銀行広面支店・  
 秋田県信用組合東支店・北都銀行秋田東支店・  
 秋田信用金庫広面支店

